

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和８年度第５回戸田市外部評価委員会 (施策２４ 公共交通が利用しやすい環境の整備・推進)
開催日時	令和８年８月７日（金）１４時４８分 ～ １６時００分
開催方法	５０１会議室
出席者氏名	委員長 佐藤 徹 副委員長 長野 基 委員 濱田 和輝 委員 田中 治夫 委員 宮崎 仁美 委員 饗場 順子 委員 須永 由美子
欠席者氏名 (委員)	無し
説明のため 出席した者	都市整備部 熊木次長 都市交通課 高橋課長、窪主幹
事務局	渡辺課長 石嶋主幹 藤田主任 大原主事
議 題	１ 外部評価委員紹介 ２ 担当部局紹介 ３ 外部評価ヒアリング
会議の経過 及び 会議結果	別紙のとおり
会議資料	１ 次第及びタイムテーブル ２ 施策評価シート及び事務事業評価シート ３ ロジック・モデルシート ４ 事前質問及び回答

(会議の経過)

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
担当部局 田中委員 担当部局 田中委員 担当部局 長野委員 担当部局	1 開 会 2 外部評価委員紹介 各委員の紹介を行った。 3 担当部局紹介 評価対象施策担当部局の紹介を行った。 4 外部評価ヒアリング ○施策の概要 概要説明を行った。 ○事務事業の妥当性、施策指標の妥当性 J R の駅ホームドア設置に当たり、市の負担割合を確認したい。 国が定める補助制度に基づき、事業者、国、自治体がそれぞれ 3 分の 1 ずつ負担することとなっている。 自転車盗難された後、放置自転車として撤去された場合も、引き取り時に撤去料を支払う必要があるか。 撤去より前に警察へ被害届が出されている場合は、撤去料はかからず引き取ることができる。 事務事業評価シート「交通対策事務費」の目標達成状況について、活動指標「J R 東日本大宮支社への要望事項」は、要望が実現した件数、要望をした件数のどちらか。 J R 東日本大宮支社と直接交渉した回数である。交渉の結果、実現に至らない要望もある。

長野委員	施策評価シートの「今後の方向性（予算）」には、「令和９年度からＪＲ埼京線各駅へのホームドア整備が実施される」との記載があるが、事前質問への回答には、ＪＲ東日本大宮支社へ要望中であるとの記載があるため、実状を確認したい。
担当部局	令和７年度にＪＲ東日本大宮支社からホームドア設置の方向性が示されたので、道筋が付いたと捉えている。実際には、令和８年度から令和９年度にかけて整備を進めると聞いている。契約等の事務は令和８年度から発生し、補助金の支出は精算払いのタイミングになるため、令和９年度予算で対応する見込みである。
濱田委員	タクシー事業者とコミュニティバスの競合関係を教えてほしい。
担当部局	コミュニティバスは路線バスを補完する役割を担っており、路線バスを運行する国際興業株式会社及びタクシー事業者である埼京タクシー株式会社と運行協定を締結し、両事業者にご協力をいただいている。こうしたことから、競合関係はないものと認識している。
濱田委員	事務事業評価シート「コミュニティバス運行事業」の目標達成状況について、利用人数は目標を上回る数値で推移している一方、運行収支は赤字となっていることについての市の見解を教えてほしい。
担当部局	コミュニティバスは路線バスを補完する役割を担っているため、採算性が低い地域も運行せざるを得ない。令和８年３月に策定した戸田市地域公共交通計画に基づき、今後運行体制の見直しや運賃改定を検討する予定である。
饗場委員	コミュニティバスの運行状況をアプリで確認することは可能か。
担当部局	全５循環のうち、埼京タクシー株式会社が運行している美笹循環を除いてバスロケーションシステムを導入しており、ホームページから運行

	状況をリアルタイムで確認できる。美笹循環についても別のシステムになるが、令和8年9月からバスロケーションシステムを導入する予定である。
須永委員	コミュニティバス利用に当たり、わかりやすいパンフレットなどは作成しているか。
担当部局	時刻表や路線図は市ホームページに掲載しており、これらを印刷したものを公共施設等に配架している。周知方法は今後も検討していきたい。
長野委員	複数の自治体が合同で補助すれば維持できる路線はあるか。
担当部局	戸田市内から西川口駅間を運行する西川61系統（下笹目～西川口駅西口）及び西川62系統（北戸田駅～西川口駅西口）の2路線について、赤字分を補助してきたが、このうち西川61系統は運転手不足により運行維持が困難となり、令和6年3月31日をもって廃止された。コロナ禍前の乗降者数の水準まで回復している路線と回復していない路線があり、今後、新たに廃止が検討される路線が生じた場合には、複数の自治体による運行補助等を検討していきたい。
長野委員	該当する事務事業を教えてください。
担当部局	「交通対策事務費」で実施している。
須永委員	JR東日本大宮支社に対しては、ホームドア設置に加えて、終電時間後ろ倒しも要望していると思うが、状況を教えてください。
担当部局	数年前から引き続き要望しているが、実現していない状況である。JR東日本大宮支社に対しては、ホームドア設置、終電時間延長、戸田公園駅への通勤快速停車の3つを主に要望している。

須永委員	コミュニティバスの利用者のうち、20歳から39歳が6割を占めていることについて、車を運転できない高齢者をカバーできていないのではないか。路線に原因があるのか、高齢者向けの補助がないので費用的な問題があると捉えているか確認したい。
担当部局	高齢者や障害者への支援は福祉施策に関係してくる。コミュニティバスの運行体制見直しの中で、利便性の向上を検討していく。
宮崎委員	シェアサイクルの自転車管理はどのように行っているか。以前、家族が他自治体でシェアサイクルを利用した際、タイヤがパンクしていたことがあった。
担当部局	シェアサイクルの運営事業者が管理しており、市は関与していない。
宮崎委員	シェアサイクルに関して市が行っている補助を教えてください。
担当部局	公有地へのシェアサイクルポートの設置は、使用料を全額免除している。
佐藤委員長	総合振興計画前期基本計画、ロジック・モデルシートに変更はあったか。
担当部局	微修正は行っているが、大幅には変更していない。
佐藤委員長	事務事業の加除はあったか。
担当部局	総合振興計画前期基本計画、事務事業の加除や統廃合は行っていない。
佐藤委員長	施策指標「公共交通機関の利便性向上の満足度」について、総合振興計画前期基本計画、上昇傾向にあり、特に令和3年度（31.4%）から令和5年度（43.1%）にかけて大幅に上昇した。市として、こ

	の結果をどのように受け止めているか。
担当部局	令和５年度は、コロナ禍の収束に伴い、市民活動が回復した年度と言える。公共交通機関を利用して外出ができるようになったことへの影響などが反映されたものではないかと考える。また、令和４年３月からシェアサイクルを導入した影響もあると捉えている。
佐藤委員長	「公共交通機関の利便性向上の満足度」向上のために注力した取り組みを教えてほしい。
担当部局	令和５年１１月に、美笹循環を除いてコミュニティバスのキャッシュレス化を導入し、利用者の約５８％がキャッシュレス決済を利用している。また、ノンステップバスの導入によるバリアフリー化を推進した。
佐藤委員長	運行本数や路線の増加などは行っていないか。
担当部局	路線を一部見直したが、本数の増減はない。
佐藤委員長	令和２年度の段階で、「公共交通機関の利便性向上の満足度」向上のために戦略的にシェアサイクルやキャッシュレス決済を導入したのか、それとも結果的に満足度が向上したのか。
担当部局	後者である。キャッシュレス化は従前より市民から要望があり、令和５年１１月により導入した経緯がある。令和２年度の時点では、キャッシュレス決済の導入の見通しは立っていなかったと思われる。
佐藤委員長	戸田市地域公共交通計画は新規に策定したのか、それとも以前からある計画を改定したのか。
担当部局	平成３１年に戸田市都市交通マスタープランを策定したが、その内容を大幅に刷新して戸田市地域公共交通計画を策定したため、新規に近いものとなっている。

饗場委員	高齢者がコミュニティバスを利用するきっかけをつくるため、例えば1日乗り放題のカードを配布し、その後は利用者自身がチャージして利用するような仕組みを検討してはどうか。
担当部局	1日乗車券は200円、回数券は11枚綴りを1,000円で販売している。
田中委員	路線バスからの乗り継ぎは可能か。
担当部局	「戸田公園駅」、「下笹目」、「北戸田駅」で路線バスからコミュニティバスに無料で乗り継ぐことができる。
須永委員	子育て世代の人は利用しているが、高齢者にはあまり知られていないイメージがある。市ホームページだけではなく、高齢者が集うイベントや戸田市将棋連盟の活動場所等で周知することによって、普段インターネットを閲覧しない人にも周知できると思う。
担当部局	運転免許証を返納した場合、2,000円分の乗車券を配布しており、コミュニティバス利用のきっかけになることを期待している。
佐藤委員長	本施策にはカーボンニュートラルや地球温暖化の観点もあると思うが、環境部門が関係課として載っていない。実態を教えてほしい。
担当部局	環境への配慮という点で電気自動車への切り替えも考えられるが、現路線の運行を賄える性能を有した電気自動車がなく、導入は難しい。
佐藤委員長	マイカーから公共交通機関へシフトするような啓発を行う観点で、環境部局との連携が考えられるのではないか。
担当部局	戸田市バイシクルシティ推進プラン（自転車活用推進計画）にて、自転車の利用を促す取り組みは行っている。

佐藤委員長	戸田市地域公共交通計画において、環境への配慮に関する内容は盛り込まれていないのか。
担当部局	路線バスについて、電気自動車への導入を検討・推進することが盛り込まれている。
長野委員	○資源の方向性、その他 施策評価シート上の「今後の方向性（人員）」において、「コミュニティバスの運行体制を見直す」とあるが、見直すことは決定しているのか。
担当部局	既に見直すこと自体は決定しており、戸田市地域公共交通計画に明記している。
長野委員	見直しの内容を教えてほしい。
担当部局	運行ルート、ダイヤ、運賃を見直す予定である。運賃については、平成13年から現在まで100円で据え置いてきたが、戸田市地域公共交通協議会にて検討する予定である。
長野委員	一定の距離に駅やバス停などがない地域が多いということか。
担当部局	駅から800m、バス停から300m圏内を公共交通カバー圏域としており、戸田市は全人口の98%をカバーしている。ただし、美女木地区や笹目地区など、1日あたりのコミュニティバス運行本数が少ない点を不便と感じる状況があり、改善する必要があると認識している。
長野委員	運行ルートと運行本数を変更すると、補助金の投入量も変わるのではないか。
担当部局	補助金や利用料金に影響はあると考えている。路線バスを補完する役割を担っているコミュニティバスが、運賃収入のみで収支を保つのは非

	現実的であり、公費投入はやむを得ないと認識している。
濱田委員	事務事業評価シート「コミュニティバス運行事業」の「事業の見直し・行財政改革の取組内容」において、「バス車両の経年劣化による交通サービスの持続性の低下を防ぐ」との記載がある。経年劣化の判断基準を教えてください。
担当部局	走行距離が40万km以上、または走行年数が11年以上の場合を入れ替え対象としている。
濱田委員	現在導入している車両の状況を教えてください。
担当部局	令和8年度に2台、令和9年度に1台、令和10年度に1台更新予定である。
佐藤委員長	施策評価シート上の「今後の方向性（人員）」において、「コミュニティバスの運行体制を見直すため、現行の人員体制を維持していく必要がある」との記載があるが、解説してほしい。
担当部局	事務事業評価シートには掲載していないが、「コミュニティバス運行事業」の中で、令和9年度から令和10年度にかけてコミュニティバス運行体制の見直しを考えており、委託事業による実証運行等を計画している。金額が確定していないため、令和9年度以降の計画額は据え置きとしている。
濱田委員	事務事業評価シート「自転車駐車場管理事業」について、賃借料が上がった場合、事業費も上がると考えられるが、利用料金に価格転嫁されるのか。
担当部局	指定管理者が利用料金を決定しているが、賃借料の上昇分を利用料金に反映させることは考えていない。なお、令和8年度中に、一部の自転車駐車場で利用料金の改定を実施した。

饗場委員	改定した市立自転車駐車場の利用料金を教えてほしい。
担当部局	一時利用の場合、1時間無料、9時間まで100円、9時間以上150円である。定期利用は、市内在住者は月額1,900円、市外在住者は月額3,080円である。
	5 閉 会